

石川県原子力環境安全管理協議会書面審議結果 概要

令和6年度能登半島地震が発生したことから、石川県原子力環境安全管理協議会を書面にて開催しました。概要は以下のとおりです。

審議期間 令和6年2月16日～3月1日

審議内容

- (1) 志賀原子力発電所の運転状況等について
- (2) 志賀原子力発電所周辺環境放射線監視結果報告書（令和5年度 第2報）（案）について
- (3) 志賀原子力発電所温排水影響調査結果報告書（令和5年度第1報）（案）について

委員からの主な御質問及び回答

- (1) 志賀原子力発電所の運転状況等について

質問：主蒸気隔離弁の不具合はどのように分かったのか。隔離弁の開閉状態はどのように確認したのか。

回答：不具合は運転員が中央制御室の警報音及び警報ランプで確認した。開閉状態は中央制御室の制御盤にて「閉」状態であることを確認した。

質問：固体廃棄物貯蔵庫のドラム缶で発生した腐食の原因は何か。成分は確認したのか。

回答：内容物を確認し、ホース内に残っていた液体が腐食の原因と推定した。廃棄する際、ホース内に液体が残っていることに気づかなかったためと推定している。析出物の分析結果で硝酸イオン等を確認したが、原因となった薬剤の特定までは至っていない。

- (2) 志賀原子力発電所周辺環境放射線監視結果報告書（令和5年度 第2報）（案）について

質問：土壌中のSr-90の結果が低めの値となっているが、サンプリングによる誤差か。

回答：そのとおり。

- (3) 志賀原子力発電所温排水影響調査結果報告書（令和5年度第1報）（案）について

質問：サザエの個体数について、高めの傾向である。自然界の変動であるが、傾向を記載しなくて良いか。

回答：サザエの傾向は本調査だけでなく、周辺漁協での漁獲量を踏まえ評価されるものであり、本調査の傾向のみを記載することは考えていない。

- (4) 志賀原子力発電所に対する原子力規制検査結果等の概要（令和5年度第2四半期）

質問：部品の劣化や破損などいくつかあるが管理体制に不備はなかったのか。

回答：部品の劣化や破損に対して部品の交換頻度が適切かどうかなどを確認し、必要があれば改善を行うなど適切な対応がとられていることを確認した。

意見：管理区域内でたばこの吸い殻が発見されたが、作業員の意識に問題がある。研修等に不備があるのではないか。

回答：事業者はたばこの吸い殻は建設時のもので、古いものであることを特定したが、本件を踏まえ注意喚起や周知徹底等の強化が図られていることを確認した。